

# 特別テーマ館「災害と介護」 体育館 1 階

未曾有の災害から半年。かつて想像もつかなかった地震・その後の津波被害、さらには原発による影響など被災県の多くの方々は、慣れ親しんだ家族・親類・友人、家や仕事・さらに住みなれた故郷そのものを喪失されました。その自然の脅威におののくとともに、日本中あるいは世界中の人々から、形あるものないものを含め、多くの支援や応援が送られ続けています。また少しずつ生活復興にむけた取り組みや、地域の再生・再構築が始まっています。

この震災を契機に、日本全体が「つながり」や「たすけあい」のある地域コミュニティの重要性をあらためて体感・認識させられることとなりました。

今、被災地ではどのような暮らしや営みをし、何が求められているのでしょうか。

また、そこから私たちは何を感じ、何を学んでいくのでしょうか。

皆で一緒に考えていく場にしたいと思います。

この特別企画コーナーでは・・・

① 3・11から市民の立場で、各種支援を継続してきたグループの活動風景の展示を通し被災地の様子がわかります。現地で実践されている足湯や喫茶などの活動の実演もあります。(展示コーナー 10:30～16:00)

② 介護が必要な高齢者や障がい者のいる家族が避難所や福祉避難所でどのように日々を過ごしてきたのか。今現地が必要としていることは何か。また今後起こるかもしれない災害に向け、特に手厚い支援の必要な人にどのような避難所運営や支援が求められるのか。

⇒被災地から当事者や支援活動にかかわった人を交え、意見交換と提言をしてもらいます。

⇒ひいては日常の地域や福祉のあり方についても見直すきっかけになります。

「車座トーク」「福祉避難所・避難所で何が起こっていたのか」14:00～16:00 トークスペースにて

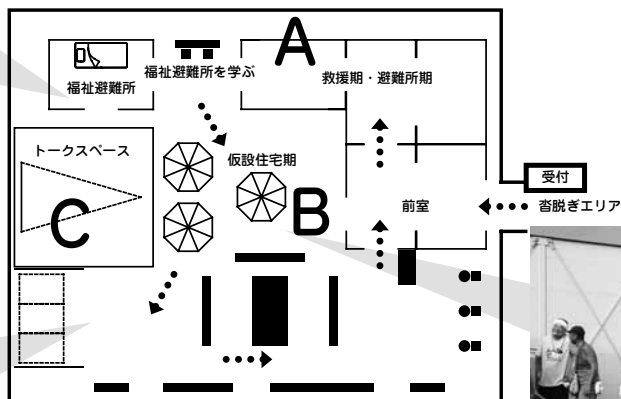
\*連動企画フォーラム「突然震災が起こったら～宮城県からの問い～」12:30～14:00

(12号館2F ※会場が異なりますのでご注意ください)



<体育館 1階>

特別テーマ館「災害と介護」



# 参加団体一覧

A 救援期 ～ 避難所期	かながわ東日本大震災ボランティアステーション	復興支援
	支えあう 21 世紀の会	被災障害者のデンマークへの留学支援
	被災者を NPO とつないで支える合同プロジェクト (つなプロ)	避難所調査、ニーズマッチング、仮設住宅支援
	全国訪問ボランティアナースの会 キャンナス	看護師による避難所支援
	全国移動サービスネットワーク	移動サービス
	日本トラベルヘルパー協会	外出の支援
	震災復興支援 サポートチーム G	物資支援
B 仮設住宅期	日本財団 ROAD プロジェクト	足湯による被災者支援 (デモンストレーション実施)
	NPO 事業サポートセンター	避難所や仮設住宅への情報ボランティア派遣
	ICT キャラバン隊	ICT 企業による被災地支援活動への支援プロジェクト
	震災復興インターネット	通信が途絶えた被災地におけるインターネット環境構築
	市民福祉団体全国協議会	パラソル喫茶によるコミュニティ支援
	たすけあいの会ふれあいネットまつど	(パラソル喫茶再現)
	「ソラノキャンパスプロジェクト」: 前見建築計画 × M.A.D	仮設住宅環境整備 (日除け (オーニング) 再現)
C トークスペース 車座トーク	全国訪問ボランティアナースの会 キャンナス 菅原 由美	報告者①看護師として避難所の支援
	移動支援フォーラム 長谷川 清	報告者②移動サービスボランティアとしてみた福祉避難所の現状
	元日経新聞記者 浅川澄一	報告者③被災地の「画期的な」仮設住宅について
	在宅要援護者備蓄保管センター 小野有香里	特別報告④災害時要援護者のための備蓄・避難所調査
	おひさまくらぶ 近藤明美	宅老所 (仙台市) 主宰 仮設住宅コミュニティ支援
	他	
宮城チーム	介護者応援ネットワークみやぎ 本村昌文	在宅介護者 (仙台市)
	キャンナス仙台中央 鳴海 幸	看護師として避難所で支援
	介護者サロン岩沼 坂本久子	在宅介護者支援 (宮城県岩沼市)
	仙台市健康福祉事業団 根田みどり	避難所での支援活動
	* 上記メンバーによるフォーラムは 12 号館で開催	